



Press Release

2004年7月14日

(リリース差出人:株式会社デジベリー)

楽天が次世代ストレージ資産管理ツール「ファイルセンス 3.3」を導入 - 体系的ストレージ管理を実現 -

株式会社デジベリー(以下:デジベリー、本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:野渡 龍)は、楽天株式会社(以下:楽天、本社:東京都港区、代表取締役会長兼社長:三木谷 浩史)が、次世代ストレージ資産管理ツール「ファイルセンス 3.3」の本番環境での運用を開始したことを発表します。楽天は「ファイルセンス 3.3」を2004年5月に導入後、楽天グループ内のファイルサーバー・ストレージ管理に活用しています。

「ファイルセンス 3.3」はネット上に散在するサーバー、異機種ストレージ間の社内ファイルデータを一括管理できます。「ファイルセンス・エージェント」がサーバーのファイルシステムをスキャンしてメタデータを収集、DAS、NAS、サーバー内蔵ディスク等の様々なデータを可視化、社内のストレージ利用の一元的把握を実現する次世代ストレージ資産管理ツールです。

楽天は「ファイルセンス 3.3」の強力なレポート機能・管理機能を体系的に使用し、企業内ストレージ、データ管理のパフォーマンスを測定・改善することで、これまで以上に効率の良いストレージ運用を行なうことが可能となりました。

採用にあたって楽天株式会社 社内情報システム部 中山 謙二氏は数種類のストレージ管理ソフトを検討しましたが、多角度からの強力なレポート能力、導入コスト、導入面での簡素さから「ファイルセンス 3.3」を選択しました。

「ファイルセンス 3.3」を導入することにより、時系列で容量の増加傾向等を把握することが可能になり、管理作業の簡略化、管理スタッフの本来の業務への復帰等、ストレージにかかる管理コストを削減することができました。

「ファイルセンス 3.3」は、国内企業を初めとして海外では J.P.モルガン・チェース・アンド・カンパニー、キャップジェミニ(旧キャップジェミニ、旧アーンスト&ヤング)、マクドナルド、プリストル・マイヤーズ、タイムワーナー等、ストレージ運用に情報ライフサイクル管理を積極的に活用する数千から数万人の従業員規模の企業に採用されています。

ファイルセンスのホームページ(<http://www.digiberry.com/Intermine/>)

< 楽天株式会社におけるファイルセンスの導入概要 >

導入規模: 1,500 ユーザー

拠点: 東京

サーバーOS: Windows Server 2000

利用目的: グループ企業内ファイルサーバー・ストレージ管理

導入の決め手:

- ・強力なレポート能力
- ・分散する NAS ストレージの全体把握、管理
- ・キャパシティプランニング
- ・ストレージ管理分析にかかる人的コストの節約



楽天株式会社について

社名： 楽天株式会社
本社： 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
設立： 1997年2月7日
資本金： 39,791百万円(2004年3月31日現在)
代表取締役会長兼社長： 三木谷 浩史

デジベリーについて

社名： 株式会社デジベリー (ファイルセンサス国内総販売元)
<http://www.digiberry.com>
本社： 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707
設立： 2001年3月30日
資本金： 1,020万円
代表取締役： 野渡 龍
概要： コンピュータハードウェアの輸入、販売、
コンピュータソフトウェアのライセンス提供、販売

###

FileCensus は Intermin Pty Ltd.の登録商標です。すべてのその他のブランドまたは製品の商標は該当する企業に帰属します。

報道関係者お問い合わせ：

株式会社デジベリー 渡辺
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707
TEL:03-5797-0866
e-mail:inquiry@digiberry.com